

ジェネリック  
医薬品

# くすりで節約、 あなたも始めてみませんか？

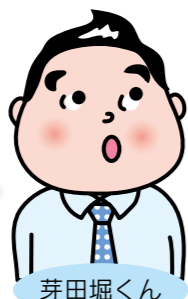
～中綴じハガキでお寄せいただいた、ご質問にお答えします～

**Q** なぜ、国や健保組合は「ジェネリック医薬品」の使用をすすめているのですか？

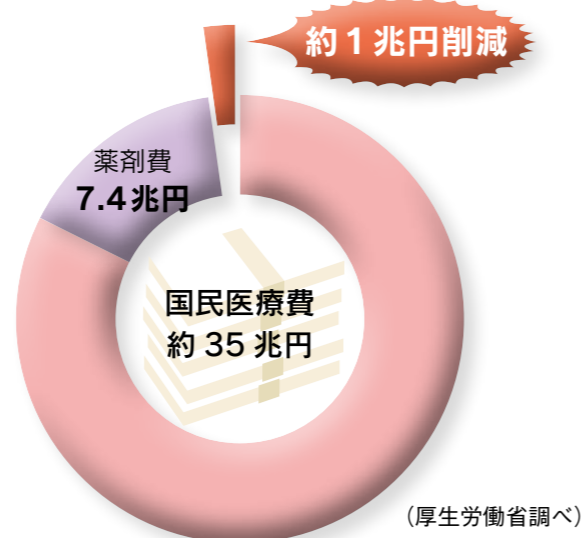
(Sさん 本人・男性・50代・福島県)

**A** 医療保険の財政改善と同時に、患者さんの負担も軽減できるため使用をすすめています。現在、日本におけるジェネリック医薬品の利用率は2割程度ですが、欧米並み(5～6割)にすると約1兆円の薬剤費が削減できます。

金額が大きすぎて、全然ピンとこないなあ



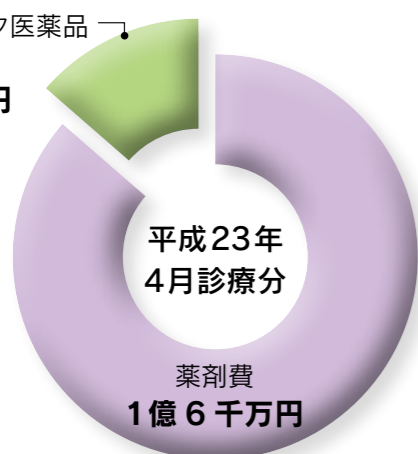
芽田堀くん



**IHIグループでは、どのくらい？**

平成23年4月診療分で見比べてみましょう。薬剤費のうち、ジェネリック医薬品に変更できる薬をすべて変えた場合は、最大で**1ヵ月2,500万円削減**できます。

ジェネリック医薬品  
切替可能額  
2,500万円



健保さん

2,500万円×12ヵ月  
=3億!?

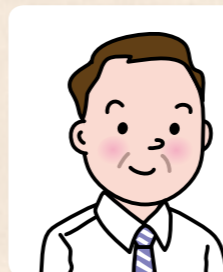
薬剤費が削減できるのは、国や健保組合だけではありませんよ！  
本人負担分(3割)では、**年間9,000万円**も削減できるので、**あなたの薬代が減るかも**かもしれません！

## 平成23年6月より、IHI本社健康支援センターで ジェネリック医薬品の使用開始！

**高血圧症の薬** 先発医薬品「ノルバスクOD錠」→ジェネリック医薬品「アムロジピンOD錠」

**高脂血症の薬** 先発医薬品「メバロチン錠」→ジェネリック医薬品「プラバチン錠」

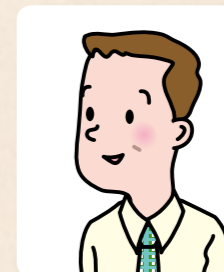
### IHI本社健康支援センター利用の患者さんの体験談



Kさん

(本人・男性・  
60代・東京都)

8年ほど前から血圧の薬を飲んでいました。ジェネリック医薬品のことは、以前からマスコミ報道などで知っていましたが、身近に情報がなかったため、自分の薬を変えようとはしていませんでした。しかし、最近『Salu! (けんぽニュース)』を読んで、健保組合がジェネリック医薬品の利用をすすめていると知り、早速医師に相談してジェネリック医薬品に変更してもらいました。効果は前の薬と変わりませんが、薬代が減ったので、変えてよかったです。



Nさん

(本人・男性・  
40代・東京都)

8月から血圧の薬をジェネリック医薬品に変更していただきました。飲んだ後もとくに体調や血圧に変化はありません。毎回60日分の薬を処方してもらっていますが、以前に比べて負担金が400円程度安くなると聞きました。今後も継続的に飲んでいく薬なので大変助かります。



健保さん

KさんとNさんは同じ薬を処方されていたので、お二人の削減額は…それぞれ年間約**2,400円**になります。

**健保組合の負担も10,000円を超える削減になりました**

**Life+**  
IHI本社健康支援センター

特許が切れていない薬(先発医薬品)も多いので、すべての薬をジェネリック医薬品に変更することはできませんが、切り替えられる薬については安全性など確認したうえで使用を検討しています。

副センター長 橋本医師

### ジェネリック医薬品の体験談・ご意見・ご感想等のお便り募集中

使ってみた感想や自分はこうして変更した、使ってみたけど不安…、薬の差額を調べてほしいなど、どんなことでも結構です。ご要望などもお待ちしております！  
ご応募いただいた方には、ささやかですが記念品を進呈いたします！

投稿方法

- ☞ 中綴じの所定ハガキ
- ☞ 社内メール：(☎) 健保 適用給付グループ
- ☞ ホームページ：お問い合わせメールフォーム  
<http://www.ihikenpo.or.jp>